

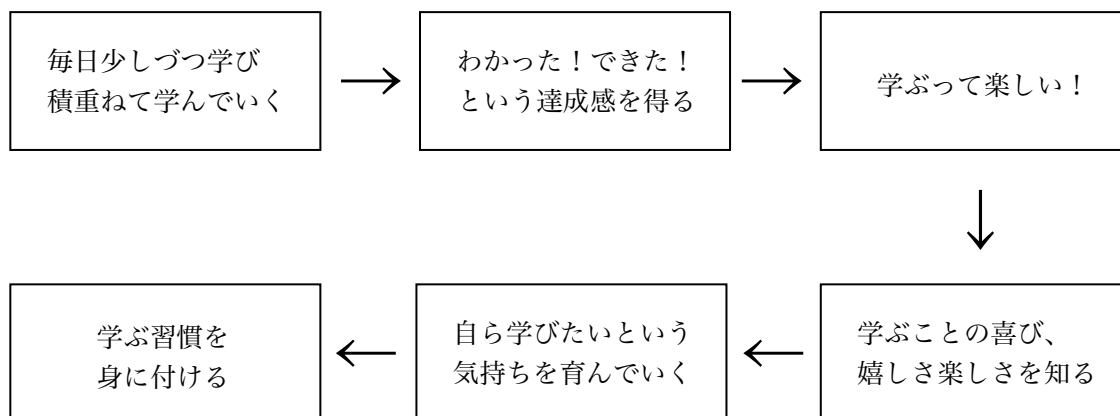
# 施設関係者評価の教育参観

木の川認定こども園 第1回 令和5年6月29日

令和6年度の研究開発学校の指定に向けて、施設関係者の教育参観（年2回）を実施し、関係者からの評価指導を行き、改善を重ねて教育の質の向上を得ること目的として「施設関係者評価の教育参観」を開催いたしました。教育指導計画書を作成しておりますので、教育活動をご覧頂き、コメント・活動の評価をいただきました。

※文部科学省の研究開発学校とは「現行教育課程の基準によらない教育課程を編成・実施して研究開発を行い、先進的な研究開発課題を具体的に設定して、将来の学習指導要領の改訂に資する実証的な資料を得ることを目的とするものです。

教育指導計画	
施設関係者 教育参観の 趣旨・目的	<p>木の川認定こども園では、能力開発研究の武蔵野大学准教授浦谷裕樹氏（生体医工学博士）の指導のもと、しちだ教育研究所(<a href="https://www.shichida.co.jp">https://www.shichida.co.jp</a>)とその他の教材等を用いて「右脳を成長を促す幼児教育」と「英語教育」に力を入れ、幼児期に備わる自己肯定感と非認知能力を育み、子どもの無限の可能性を引き出す教育を提供することを園の目的としております。そして、通園する児童の基礎学力を培うことで、地域の学力の向上を目指し、幼児期より英語に触れ合い学び続けることで、英語に慣れて、小学校の英語の義務教育の準備をいたします。</p> <p>また、こども園では日々の活動を通じ、優しい心を育み、明るく、個性を伸ばすための保育と幼児教育を大切にしております。</p>
園児の成長への ねらい	<ul style="list-style-type: none"><li>・自ら学びたいという気持ちを育む。</li><li>・学ぶことの楽しさを知る。</li><li>・「できた！覚えた！」という達成感を得る。</li><li>・「できない、分からない」という思い、もどかしさや悔しさを経験しても、それを乗り越えて、成長してほしい、という思いも大切にしています。</li></ul>



## 英語教育 指導計画

趣旨	<p>幼児期より、外国語である英語を毎日少しずつ使って遊ぶことで、英語を話す（使う）事への苦手意識の軽減を得ることを目的とする。</p> <p>日常生活の中にあたり前にある言語となるよう、英語の時間以外でも、英語講師と会話や触れ合う際には、率先して英語を使い、園児から英語についての質問に答えていく。たとえば「これは英語で何と言うの？」の質問が多く聞かれる。</p> <p>英語の絵本も園児の要望があれば読んでいく。</p>	
時間	実施内容	目的・趣旨
5分	Greeting 挨拶	<p>毎日のルーティーン</p> <p>その日の気持ちを英語で表現する。相手にも聞き返す。その日の日付、天気、曜日を英語で言う。</p>
15分	カードをフラッシュする。 そのカードを使って質問する。	<p>園児の興味のあるカードを使い、早くフラッシュする事で、集中力を高め、脳を活性化させ、input力を高める。フラッシュした単語を使い、各園児に質問し答えてもらう。</p> <p>色々な文法の質問</p> <p>Do you～？</p> <p>Can you～？</p> <p>Are you～？</p> <p>What __ do you like？</p> <p>などの質問に対する答え方を身につける。</p>
10分	TPR Total physical Response 全身反応教授法	<p>赤ちゃんが母国語を身につけていく過程を外国語学習に応用した教授法。</p> <p>動作をしながら、外国語を習得していく。</p> <p>先生の声かけを聞き、園児が体で声かけに合った動きを表現する。</p>

## 幼児教育 指導計画

趣旨	<p>園内で絵本の朗読、暗唱、フラッシュカードやパズルなどを利用した、充実した幼児教育を行うことは、多くの言葉に触れることになり、語彙力が増え、表現力が豊かになると考えている。園児に無理なく学び、楽しく学んでいくこと環境を提供します。</p> <p>また、フラッシュカードを含めた幼児期の暗唱は、記憶をする脳の回路をより太く強くすることを目的とし、物事をすばやく覚える習慣を育みます。</p>	
時間	実施内容	目的・趣旨
10分	<p>おはよう 「にじ」 「七夕様」 「ひとりじゃないさ」 「今日も元気」</p>	園児全員の前に出て、発言する力を養い、季節の歌や親しみのある歌を楽しみながら歌う。
5分	<p>幼児の暗唱 「寿限無」</p>	繰り返し覚えることで記憶し、朗読する力を育む。暗唱は大きな声でハッキリと言うことで、滑舌が良くなるようになる。
5分	かけざんカード	音源のリズムに合わせて、楽しくかけ算を学ぶ。小学校入学までに九九を無理なく身につけて、数の概念を身に付ける。(たし算は1～3才児で行っている)
5分	歴史人物カード	日本や世界の歴史上で著名な人物に触れ、知識を増やし、歴史に対する興味を育む。
5分	四字熟語カード	四字熟語を学ぶことで、よりの確かつ鮮やかな表現ができるようになり、言葉の力を最大限に引き出して、豊かな表現力を育む。
5分	反対語カード	日常生活で使う反対語の言葉と意味を楽しく学ぶ。その言葉の意味や使い方をより深く知って言葉の発達を促す。
5分	国旗カード	子どもたちが楽しく各国の国旗を学び世界各国の興味を持つようにする。色や形を識別する能力を育む。
園児休憩		教育についてのご説明・質疑応答
10分	ニキーチンの積み木	7個の積み木を使って、見えない場所に隠れている積み木を含め、立体的な図形の構成や空間を把握する力を身に付ける。

令和5年6月29日教育参観参加者の意見

良かったところ、指摘すべきところなど	感想・質問
<p><b>【評価者 A】</b></p> <p><b>【英語教育の良かったところ】</b>            答えは1つではない、子どもたちの考えが "間違いではない"と認めてもらえていたところが良かった。</p> <p><b>【幼児教育の良かったところ】</b>            自由な発想を認めてらい、笑顔で伸び伸びとしている姿。先生方との普段からの関係性（甘えられる安心）が見えていた。子どもの力に（どうするか判断を）任せていたところ。子どもたちの暗記力に、とても驚きました。できなくて悔しい気持ちに寄り添う姿もあって良い。</p>	<p>子どもたちが興味度や集中できる時間は個人差が大きいと考えます。どのような対応で工夫されているのかな、と思いました。            勉強になりました。</p>
<p><b>【評価者 B】</b></p> <p><b>【英語教育の良かったところ】</b>            毎日取り組んでいる事で、英語に親しんでいる、と感じました。1人ずつ答える場面もあり、自分なりの言葉、表現で伝える姿が見られてとても良かったです。カードでは、めくるところは早く、その他のゆっくり質問したり、メリハリがあり、集中しやすいと感じました。</p> <p><b>【幼児教育の良かったところ】</b>            カードでは、沢山の言葉をおぼえることで、覚えた！言えた！という自信につながっているのだと思いました。その後の体を動かす遊びは、先生と子どもたちが一緒になって取り組んで、楽しそうにしているのが良かった。</p>	<p>子どもたちの姿など、いろいろ見せて頂き、勉強になりました。</p>
<p><b>【評価者 C】</b></p> <p><b>【英語教育の良かったところ】</b>            日常生活で使っていることを英語でも考えていて、普段の生活で使える英会話が出来ているように思えます。            「歌をうたう」活動のように「英語をお話する」活動として子どもたちが楽しく取り組んでいるところが良かったです。</p> <p><b>【幼児教育の良かったところ】</b>            多く言葉に触れていて、言葉の数が増え、表現力が豊かになっているように思えます。</p>	<p>集中して子どもたちが色々なことに取り組んで、学んでいる姿に、成長している様子が見られ、得意なところを一生懸命やっている姿は、将来、色々なことに挑戦していってくれる（人）になると思います。</p>

## 【理事長】 質問の回答

①【卒園児の追跡調査について】 ← このような意見（追跡調査したほうがいいなど）が多々ある。

プライバシー保護の観点から難しい。「保護者に尋ねる」「保護者から成長の様子を解答してもらう」という話もありますが、保護者は自分の子どもしか分からないので、客観的なデータとして不十分になる。本格的な調査の場合は、小学校や中学校などで、各学年の先生が、客観的な視点で、どのように成長しているのか、他の児童とどう違うのか、を見ないと、集計はできないと考えている。将来、文部科学省の研究開発学校の指定を受けた場合は、活動の成果を地域の学校に調査依頼をすることが出来るため、追跡調査を行うことができるようになると思われれます。

②【スピードのある学習ではあるが、幼児が理解できない場合はスローなスピードで（カードをめくることも）あるのか】 年齢（クラス）に応じて、カードをめくるスピードが異なります。0歳児でも日本語・英語のフラッシュカードを行います。主にインプットになり、子どもたちは、回答せず、見ているだけになります。子どもたちと一緒に坐っている先生たちがカード内容を発言します。年度の上半期は、答えることができない子どもたちも、12～3月ぐらいになると、アウトプットが始まり、先生と一緒に答えるようになってきています。

## 【評価者 D】

【英語教育の良かったところ】

・ルーティーンとして行うことで定着に繋がっていると思います。フラッシュカードの見せ方、スピードが適切でした。指導者が日本語を使いすぎることなく、英語で積極的に発問・指示することにより、子ども達もしっかり耳を傾け対応できていました。

【英語教育の指摘・改善すべきところ】

・幼児教育にも関わることかもしれませんが、フラッシュカードなどくり返しの活動の際は「少しずつ変化のあるくり返し」を行っていくことで、子どもの集中力を高めることが出来るように感じました。（全員で言う、一部が言う、立って言うなど）

【幼児教育の良かったところ】

・みんなの前に出て、発言する機会をつくることは小学校での学習にもつながっていくことで、意義ある活動でした。色々な言葉にふれることは、日本語の素地を身につけることになり良いと思います。百玉そろばんを使うことで、数の概念が感覚的に把握できていたと思います。

【幼児教育の指摘・改善すべきところ】

・英語教育でのフラッシュカードにも言えますが、どの言葉・単語の時に、絵とともに文字を示していくのかを検証していくことの大切さを感じます。すでに色々考えておられると思いますので、機会があれば、教えてください。

【質疑にて】

日本歴史人物カードの暗記力には驚き、すごいと思いました。人物絵の次に、本人の名前を書いたカードを入れてみてはいかがでしょう？（四字熟語のように）名前の漢字を覚えるようになると思います。将来、このこども園の子どもたちが、成長していくことが、どのようにしていくのか、知りたい。園児が小学校に進学しても、木の川認定こども園の教育活動が継続できるようになれば良いと思う。

フラッシュカード・暗唱・百玉そろばんは、私が小学校教育で積極的に取り入れた活動でしたので、幼児教育等で、その取組を参観できたのは、大変勉強になりました。

## 【評価者その他数名】

### 【英語教育の良かったところ】

幼少のころから、世界の共通語といわれる英語に接することが素晴らしい。

聞く力・話す力には無限の能力を感じました。

絵入りカードを示して考えさせて発音させるのが素晴らしい。

早期からの英語教育は良いです。幼少から英語を習う事は大切。

一人ひとりに解答させていた事は良かった。

ただ「聞く」というだけでなく、子どもたちの「答える」といった会話がなされている。英語に対して拒絶反応がある私としては、幼児の時から英語に関わることができていて、とても良いと感じました。少人数授業が良い。

### 【幼児教育の良かったところ】

楽しく学んでいた事が良いです。良い教育をされている。

子どもたちが楽しそうに積極的に参加している。

次代を担う幼児の教育の必要性を再認識しました。(幼児期からの学ぶ) 英語と算数はすばらしい。

幼児教育とは先生方の学力、体力、そして気力の闘いであることを感じました。愛国心、日本人の矜持きやうじを養う教育をさらに進めてください。

## 【その他の意見】

今、日本の教育活動が低迷している。ゆとり教育を行っていた結果だと思う。世界で取り残されてきている状態で、どうかしなければならぬと、いつも考えていました。今回、木の川認定こども園で行っている教育活動を拝見し、幼児期からこのような教育・英語教育を行っていくことの大切さ、必要性を実感しました。もちろん個人差はあるけれども、将来、このこども園の園児たちが大人になってどのような活躍をするのか、楽しみです。ぜひ追跡調査を試みてはいかがでしょうか？